

新しい生活様式に対応した口腔保健指導推進事業

イメージ

〔地域医療介護総合確保基金事業（歯科保健事業）〕

【目的】

新しい生活様式においても実施可能な口腔保健指導を普及し、要介護者の身体機能の維持・向上を図る。

【事業概要】

新しい生活様式に即した形で実施できる要介護者の口腔機能の評価方法や口腔ケア手法に関する動画教材等を作成し、地域における介護施設（デイサービス施設）職員等に対し、口腔ケアに精通した歯科医師、歯科衛生士が保健指導を実施することで、高齢者の低栄養予防、誤嚥性肺炎の予防、フレイル（身体機能の虚弱）予防につなげ、身体機能の維持・向上を図る。

地域における介護施設（デイサービス施設）職員等に対し、施設利用者等への機能的口腔ケアを充実させるための研修を実施（実施方法：対面、web方式等）

【受講生】

・地域における介護施設（デイサービス施設）の職員等

【保健指導用教材】

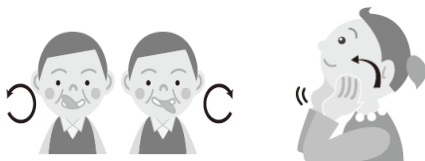
動画媒体等



【講師】

機能的口腔ケア保健指導に精通した歯科医師、歯科衛生士

健口体操



※研修会実施一定期間後、2回目の研修を実施し、施設での口腔ケア実施状況、利用者の口腔状態などをアンケート等により把握する。



地域における介護施設（デイサービス施設）



新しい生活様式における機能的口腔ケア（健口体操など）の継続的な実施
※高齢者施設利用者や在宅療養者に対する口腔ケアを想定

・低栄養予防
・誤嚥性肺炎の予防
・フレイル（身体機能の虚弱）予防
・身体機能の維持・向上につながる！